

第6回ものづくりAPS推進機構 PSLXフォーラム技術委員会 議事録

日時：2007年5月21日（月）10：00～18：00 場所：製造科学技術センター（MSTC）第一会議室

出席者（敬称略・順不同）

西岡靖之（法政大学），河内伸仁（岩井機械工業），児玉公信（エクサ），高橋達也（横河電機），松川信也（日立製作所），川内成宏（プロセス経営研究所），王喜宏（富士電機システムズ），鈴木健司（三菱電機），山本明人（光電製作所），原田騎郎（オージス総研），岡宗秀一（製造技術科学センター），杉修（書記・法政大学） 12名

資料

[1]第5回PSLXコンソーシアム技術委員会 議事録

[2]PSLXバージョン2第4部：APSドメインオントロジWorking Draft - Version 7 - (2007/05/21)

[3]PSLXバージョン2第5部：XMLスキーマWorking Draft - Version 3- (2007/05/21)

[4] PSLXバージョン2第6部：RDBスキーマWorking Draft - Version 8- (2007/05/21)

[5]OASIS PPS-TC Voting

議事内容

（午前）

（1）本日の議事内容の確認

※本日は最終的な原稿の審議を行う予定との挨拶があった

※また、本日OASIS-PPSの最終的な投票が行われるとの報告があった

※IEC62264パート5の改定原稿

（2）前回議事録の確認

※前回議事録の確認が行われた

（3）PSLX-V2パート4,5,6最終ドラフトの審議

※全体的な変更点についての報告があった

（4）パート4（ドメインオントロジ）

※P. 8 情報モデルの定義が世の中で一般的に使われている概念との違いがあるとの意見があった

※P. 11 概念要素の要素という表現を全ての仕様書から削除した

※P. 14 双方向の矢印という表現は図との関係に誤解を招くため線で結んでいますに変更された

※P. 18 #Partyと#Resourceは間接的な関係であるとの意見がありを削除された。その結果、オントロジ構成要素の構造（7）の二つの図は統合することとなった。この意見により、個々の関係について簡単な説明を加えることとなった

※P. 21 現実世界の中に未来は入るのかとの意見があった

（午後）

※P. 21 クラスの集約はあるが、インスタンスは存在であるので、集約と呼ぶとの説明は必要ないとの議論があった

※P. 21 5.5オブジェクトの一般的関係について例を追加してほしいとの意見があった

※P. 23 インスタンスオブジェクトは振る舞いを持たずに、振る舞いの結果をもつことができる

との説明を加えることにした

※P. 25 PSLXの標準仕様書からモデルを生成するという表現ではなく、マッピングに変えた方がよいとの意見により、矢印を破線に変えることに決まった。また標準モデルを生成するとう表現するのではなく、生成することも原理的に可能であるとの表現が検討された。

※P. 28 インターフェースオブジェクトの生成の図があったほうがわかりやすいのではないかと意見が出された

※ 第4部のタイトルであるAPSドメインオントロジを多くの人に読んでもらいたいという理由からオントロジと情報モデルに変更した

※P. 9 データモデルではなくデータ集合にしてはどうかとの意見があった

(5) パート5 (XMLスキーマ)

※ OASIS-PPSに従っているため、全体の構成についての説明のみが行われた

※ OASIS-PPSを参照しているとの表記をしたほうがよいとの意見があった

※ P. 25 日本語と英語の関係性を保つためにItem関連オブジェクトの在庫量を在庫に変更した

(6) パート6 (RDBスキーマ)

※P. 11 区分リストはモデルに書かずに文字で表現したほうがよいとの意見が出た

※P. 11 外部キーはフィールドに含まれているのではないかと議論があり、外部キーはオブジェクトではなく、フィールドの属性でという意見があった

※P. 12 有効日、失効日はパフォーマンスが低下するため削除してほしいとの意見があったが、尺注を入れることにより残すことになった。変更履歴に関しては意味をなさないため削除

※P. 19 表の区分値を区分に変更

※P. 46 入手出庫指示に実績ロットは結んだ方がよいのではないかと意見があった。

※P. 55 クレームと実績ロットは結んだ方がよいとの意見があった

次回予定

2007年6月25日(月) 13:00～ 第5回 アドホック会議(PPSジョイント)

2007年7月18日(水) 10:00～ 第7回 PSLX技術委員会

以上